

1 4 2
隔 月 刊

8月

http://www.netlaputa.
ne.jp/~yamanote

あたたかい介護をお届けします まごころサービスだより

●発行 NPO法人東京山の手まごころサービス
●編集 広報 〒169-0075 新宿区 高田馬場1-32-7 信ビル 301
☎受付 3205-6813(留守電共)・3205-7900 FAX 3205-6766

嚥下が低下した高齢者に 訪問歯科の活用を

代表 服部万里子

「最近、食事のときにむせることが多くなりました」というAさん。93歳になるAさんは要支援2の認定を受け、一人暮らしをしている女性です。食事に関しては、副食は娘さんが1週間分を小分けの冷凍にして用意してくれますが、ご飯はAさんが自分で炊いています。

さて、そんなAさんの食事の様子から、やはり嚥下障害(食べ物を上手に飲み込めない状態のこと)が心配になります。このようなときは、訪問歯科に診てもらい、Aさんの摂食や嚥下に問題がないか診断してもらう方法があります。因みに、まごころのご利用者の場合、Aさんと同じような症状があれば、まずケアマネジャー(以下ケアマネ)に相談し、「摂食・嚥下」を診てくれる訪問歯科を探してもらいます。訪問歯科が見つかったら、ご利用者自身が日頃どのような食事をしてるかを、あらかじめケアマネに伝

えていただきます。

先のAさんの場合ですと、ケアマネはAさんと娘さんに訪問診療への理解を求め、2人が訪問診療の受け入れを決めたら、そのことをAさんの主治医に連絡します。

次に歯科医師の訪問診療の日時を決めます。当日はケアマネが立ち合うか、無理な場合は、ケアマネがAさんの基本情報と食事の状況などを事前に歯科医師に伝えておきます。

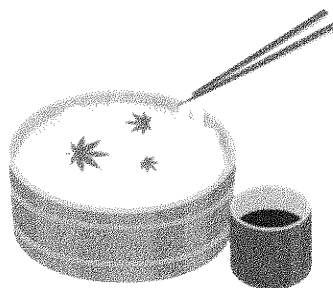
診察の結果、ときには、治療や嚥下のリハビリが必要になるかもしれません。口腔ケア(口腔の疾病予防、健康保持、増進、リハビリによりQOLの向上をめざした科学と技術による管理)、自宅でできる嚥下訓練、定期的な歯科受診など、必要な対応については、歯科医師の指示を仰ぎます。また「口からおおいしく食べる」を維持するため、居宅療養管理指導についても歯科医師に相談します。

訪問診療の結果は、最終的に歯科医師またはケアマネから主治医に報告されます。歯科医師から「抜歯をする

のでこれまで処方されている薬の情報が必要」といった要請や「訪問看護でリハビリが必要」といった所見がある場合は、主治医と相談することになります。

因みに、食事の形態に工夫が必要なときは「やわらかご飯」や「舌でつぶせる食品」などを。また、配食サービスを活用するのも一法。これらについても、ケアマネにご相談ください。

訪問歯科の活用による一連の経過については、ヘルパーの事業所はもとより、デイサービス、ショートステイの担当者にも知らせ、関係者の間で情報を共有しながら、ご利用者のケアプランを支えていきます。(CASIO 冊子「the地域資源」掲載原稿に一部加筆)



■平成30年度定期総会のご報告：西野 智子副代表

平成30年度の定期総会は5月28日(月)18時より新宿区戸塚地域センターにおいて開催しました。当日ご出席いただいた会員は、総会に27名、交流会に38名。皆様方のご協力により恙なく進行し、第1号議案から第5号議案まで全てが承認されました。ここに平成30年度総会が終了したことをご報告申し上げます。

第2部は会場を移して服部代表を交えての交流会を行い、会員の親睦を図りました。普段は直接お会いする機会のない職場なので、今後もこのような場を積極的に設け、つながりを大切にする活動基盤として育てていきたいと考えています。

代表挨拶：

「介護保険制度改正と社会保障の形が大きく変わる中、事業所の統廃合や閉鎖といった厳しい状況を目の当たりにしながらも、今日まで続けて来られたのは、もとより、一緒に働いてくださる人、支えてくださる人、地域の皆様のご協力があってこそ。本年度も皆さまの色々なご意見をいただきながら前進したいと思います。今後のサービス活動の方向性を考え、それに合わせた人材確保を考えていく所存です」

事業報告及び収支報告：

第1号議案から第4号議案まで、服部代表及び鷹野理事により資料に基づき報告がなされ、質疑の後、満場一致で可決されました。

第5号議案の理事・監事改選の件は鷹野理事により説明。小西氏は顧問とし、新たに細川氏が理事として推薦された旨の報告がなされ、挙手により提案通り選任されました。

その他：

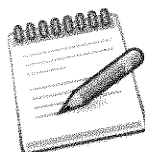
服部代表より30年度介護保険の改正ポイントの解説がありました。
西川議長が本総会を終了する旨宣言し、総会は終了しました。

課題：

これまで制度改正のたびに縮小削減の対象となった訪問介護について、結果、市場は確実に縮小し、それに伴う介護職員の減少は深刻な状態になっています。事業者の統廃合が進み、地域包括方式が推進される一方で、小規模事業所は著しく減少し、サービスの多様性は失われつつあります。加えて、地域のボランティアの掘り起こしに目立った成果は見られず、政府が期待する地域人材の活性化は一向に進んでいません。

今後、急増が予想される後期高齢者への支援も、次世代の人材育成の成功なしに対応することはできません。従って、引き続き、ヘルパー養成学校との連携で人材の確保に力を入れていく所存です。変化の時代にあっても最期まで在宅生活をあきらめない支援を考え続け、家で暮らすための地域連携が機能する社会を目標に、在宅介護に特化したNPO団体として研鑽し、社会のお役に立つ活動を継続することを確認しました。

※総会資料の請求につきましては事務局迄お申し出ください。電話03(3205)6813



教えてご隠居さん

知らぬことあらば「ご隠居に聞け」とばかりに今日もまた
“八つつあん”がやってきた、さて。【家の中での転倒を防ぐために】



八つつあん『最近、おとつつあんが転びやすくなりましてね、どうしたものかと』

ご隠居『昔ながらの家は段差が多いからね。高齢者の場合、白内障がすすんでいたりすると、高低差のある物体の境目が見えにくく、それが転倒の原因になることもある』

八つつあん『目も調べてもらわないといけませんね』

ご隠居『それから、できればスリッパは履かないほうがいい。足元が冷える人には、滑り止めのついた靴下を。指に力が入るような素材で、形状的に安定感のある5本指ソックスは機能性がある。フローリングの床ならリハビリ・シューズで過ごすのもいい。普段、杖を使用しているなら室内用の杖も用意すれば、一層、安心できるんじゃないかな』

八つつあん『電源コードなども危険ですよ』

ご隠居『台所や浴室前、玄関のマットでもつまづく人が多い。なので、どうしても敷くなら、マットの端がめくれあがってしまわないように、マットの下に滑り止め防止ネットを敷くなどするといい。忘れてならないのは、自らの筋力アップ。椅子に座って行う運動としては、①足のつま先の上げ下ろしや、かかとの上げ下ろしをする。②椅子の肘当てをつかんでいる状態で両足を浮かせ空中で足踏みをするなど。こうした運動を無理のない範囲で、できれば毎日続けることが大事だ。そうそう、“まごころ”で開催してる、こめこめ倶楽部のADL体操もいい運動になるので、おとつつあんには是非、参加するようにいっておくれ。(お問い合わせ・お申し込みは、まごころ事務局迄)』

戸塚地域福祉会議に参加して:宮永 敦子(事務局職員)

小西前代表から引き継ぎ、服部代表のサポート隊として今年度から江黒と宮永が「戸塚地域福祉会議」(毎月だれでも参加できるミニ勉強会)に参加しています。平成15年発足の会議体で、「立場の異なる者が互いに知り合い、人間関係を築くことに時間をかける」「福祉生活全般・生活まるごと」「縦割りにならずお互いの顔が見えるまちづくりをめざす」との考え方を土台に、情報交換やイベント開催等の活動を続けています。構成員は、地域住民や学生、在日外国人、PTA、NPO、新宿区社会福祉協議会、戸塚高齢者総合相談センター等。月1回戸塚地域センター5階会議室で開催しています。

《7月の情報》

7月11日(水)の定例会では、介護予防・生活支援員の養成研修について、まごころサービスの宮永がご紹介しました。新宿区の「介護予防・日常生活支援総合事業」の中の「生活援助サービス」の担い手の拡大を目的に今年創設されたのが「生活支援員」で、資格のない方も区の「指定研修」を受講することで、制度上の「生活援助中心型サービス」に従事できることになりました。因みにこれはボランティアではなく有償の活動です。(まごころでは、1200円/時間を支給。ご協力いただける方を募集中です)。

7月27日(金)には新宿区役所で「区の指定研修」を、7月28日(土)は「神田川水辺の染体験」(昭和30年頃まで神田川で実際に行われていた染物の水洗いの工程の実演)を開催。8月については、「民泊」をテーマに開催する予定で、詳細につきましては、順次ご案内させていただきます。

地域生活支援事業「まごころこめこめ倶楽部」は、高齢者、障がい者、そ
 のご家族が気楽に交流できる居場所
 づくりを目的とした、まごころサービ
 スのボランティア事業です。お誘いあ
 わせの上、お気軽にご参加ください。

落語とおぼしきを楽しませ

【日時】8月14日(火) 13時半～

15時半(受付13時)

【会場】新宿げやき園・1階ホール
 (百人町4の5の1) 高田馬場駅
 より徒歩8分

【出演】学習院大学落語研究会

【後援】新宿げやき園

【協力】新宿区社会福祉協議会

【会費】100円

【定員】40名

【申し込み・問い合わせ】03(3

205) 6813 事務局迄

205) 6813 事務局迄

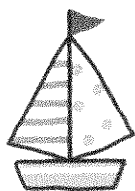
賛助会員のご支援いただき ありがとうございます

- 今泉 シナ様
- 中 和子様
- 森 眞理子様
- 香山 誠志郎様
- 椿 康介様
- 大坪 とし子様
- 花之内 博美様
- 青木 康雄様
- 西村 早苗様
- 森 一朗様
- 中島 美智子様
- 酒井 裕之様
- 石崎 幸吉様
- 杉山 歩様
- 神田 正子様
- 半杭 隆子様

- 富永 一朗様
 - 堀井 勉様
 - 高橋 敏一様
 - 芝田 貞子様
 - 原島 豊様
 - 菊原 袈裟夫様
 - 中野 知代様
 - 岡田 七郎様
 - 関本 孝子様
 - 長束 セツ様
 - 荒木 唯子様
 - 奥村 親一様
 - アンダンテ音楽研究室・仲里 潔子様
 - 東友会関東支部ボランティア部会様
 - 清水 幸次様
 - 浅野 良子様
 - 岩尾 光代様
 - 山本 武子様
 - 大谷 静子様
 - 勝屋 千津子様
 - 上村 ムツ様
 - 折笠 孝代様
 - 山崎 壽美子様
 - 高木 朗雄様
 - 嶋瀬 ヒデ子様
 - 奥村 文子様
- (順不同・平成30年6月現在)

訪問介護員大募集中!

ヘルパーさんが不足しています。お
 知り合い、お友達、ご親戚の中に協力
 会員として登録可能な方がいらっしや
 いましたら、経験や資格の有無に関わ
 らず、ご紹介いただければ幸いです。
 また、家事の得意な方も歓迎いたしま
 す。なお、心ばかりではございますが、
 謝礼を用意しております。(事務局)



活動実績報告

活動時間(平成30年4月～6月)

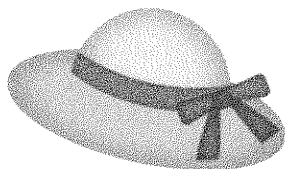
| 平成30年 | 5月 | 6月 | 4月～合計(時間) |
|----------|--------|--------|-----------|
| 移動 | 356.0 | 338.3 | 1069.5 |
| 介護 | 280.7 | 301.5 | 936.6 |
| 回復リフレッシュ | 26.5 | 26.0 | 75.5 |
| 自費マイプラン | 360.3 | 383.0 | 1082.4 |
| 重度 | 153.5 | 210.0 | 542.0 |
| 障害者総合 | 1006.3 | 980.8 | 2996.7 |
| 同行 | 627.0 | 527.0 | 1726.5 |
| 総合事業 | 243.1 | 225.0 | 682.6 |
| 総計 | 3053.4 | 2991.6 | 9111.8 |

夏季休業日のお知らせ

誠に勝手ながら、事務局は先の日程
 でお休みさせていただきます。この期
 間のご連絡は留守番電話で承ります。
 ※8月10日(金)～8月16日(木)
 ※電話03(3205) 6813

編集後記

肌を刺すような厳しい暑さですが、
 お変わりございませんか。例年なら未
 だ梅雨明けの頃だというのに、連日の
 猛暑。何より恐ろしい自然の驚異に、
 ただならぬ地球の危機を感じる日々
 です。レジ袋やプラスチック製のスト
 ローを使わないなど、環境のためにで
 きることを、身近なところから取り組
 みたいものです。それとて遅きに失し
 た感がありますが、そうはいっても、
 地球の未来が人間の英知に託されて
 いることは間違いありません。これか
 らが夏本番です。皆様、ご自愛のほど
 お過ごしください。 西野(智)



西日本豪雨災害募金のお知らせ

西日本の広域災害の報道は日を追うこ
 とに被害の深刻さを増しています。まご
 ころサービスでは自分達にできること
 で支援したいとの思いから募金箱を設
 置。今回は8月中旬まで設置した後、従
 来通り共同募金として赤十字に送ります。
 宜しければご利用ください